

学会等発表実績

## 学会等発表実績

- Iwamoto Y  
The Importance of Research and Publication.  
APOA/RCOST 2014 2014.10. 23-25. Pattaya, Thailand
- Nakanishi Y, Nishi N, Chikaura H, Kuwahata K, Nakashima Y, Murase K, Miura H, Higaki H, Mizuta H, Iwamoto Y  
Precision Surface Machining of Artificial Joint Bearing Surfaces to Inhibit Macrophage Activation.  
ISTA 2014 2014.9.25-27. Kyoto, Japan
- Hara D, Nakashima Y, Hamai S, Higaki H, Shimoto T, Ikebe S, Hirata M, Kanazawa M, Kohno Y, Iwamoto Y  
In Vivo Hip Kinematics in Healthy Subjects and Patients With Osteoarthritis During Weight-Bearing Activities.  
ISTA 2014 2014.9. 25-27. Kyoto, Japan
- Todo M, Abdullah A H, Nakashima Y, Iwamoto Y  
Prediction of Bone Resorption in Lower Limbs With Osteoarthritis and Hip Arthroplasty.  
ISTA 2014 2014.9. 25-27. Kyoto, Japan
- Todo M, Abdullah A H, Nakashima Y, Iwamoto Y  
Risk of Femoral Fracture in Hip Arthroplasties During Falling and Twisting Configurations: A Finite Element Study.  
ISTA 2014 2014.9. 25-27. Kyoto, Japan
- 本村悟朗、山本卓明、中島康晴、福士純一、大石正信、濱井敏、池村聡、岩本幸英  
大腿骨頭壊死症に対する骨切り術の検証と進歩。  
第41回日本股関節学会学術集会 2014.10.30,11.1. 東京
- 小林千益、松本忠美、大園健二、菅野伸彦、久保俊一、岩本幸英  
特発性大腿骨頭壊死症(ION)研究班所属整形外科でのIONに対する人工物置換術の登録監視システム：  
平成25年度の調査結果  
第41回日本股関節学会学術集会 2014.10.30,11.1. 東京
- 鳥山和之、山本卓明、本村悟朗、中島康晴、山口亮介、園田和彦、久保裕介、岩本幸英  
大腿骨頭壊死症における壊死域、健全域、境界域での応力解析。  
第41回日本股関節学会学術集会 2014.10.30,11.1. 東京
- 坂本悠磨、山本卓明、岩本幸英  
狭義の特発性大腿骨頭壊死症における遺伝子解析 -COL2A1変異の有無の検証-  
第41回日本股関節学会学術集会 2014.10.30,11.1. 東京
- 園田和彦、山本卓明、本村悟朗、中島康晴、大石正信、濱井敏、山口亮介、鳥山和之、岩本幸英  
外傷性大腿骨頭壊死症に対する大腿骨頭回転骨切り術の術後中期成績。  
第41回日本股関節学会学術集会 2014.10.30,11.1. 東京
- 宇都宮健、本村悟朗、山本卓明、中島康晴、福士純一、大石正信、濱井敏、岩本幸英  
大腿骨頭前方回転骨切り術後の変形性股関節症に対するTHA。  
第41回日本股関節学会学術集会 2014.10.30,11.1. 東京
- 秋山美緒、中島康晴、北野利夫、中村幸之、高村和幸、岩本幸英

大腿骨頭すべり症における大腿骨頭頸部移行部のリモデリングに関する検討 -多施設共同研究-

第41回日本股関節学会学術集会 2014.10.30,11.1. 東京

- 中島康晴、山本卓明、本村悟朗、大石正信、濱井敏、福士純一、岩本幸英

進行期・末期変形性股関節症に対する関節温存術 -転子部外反骨切り術-

第41回日本股関節学会学術集会 2014.10.30,11.1. 東京

- 福士純一、中島康晴、河野一郎、山本卓明、本村悟朗、大石正信、濱井敏、岩本幸英

THA後の筋力回復に影響する因子の検討.

第41回日本股関節学会学術集会 2014.10.30,11.1. 東京

- 濱井敏、中島康晴、河野裕介、山本卓明、福士純一、本村悟朗、大石正信、秋山美緒、岩本幸英

進行期変形性股関節症に対する寛骨臼移動術:術後成績への影響因子に関する検討.

第41回日本股関節学会学術集会 2014.10.30,11.1. 東京

- 原大介、中島康晴、濱井敏、山本卓明、本村悟朗、大石正信、平田正伸、金沢正幸、河野裕介、岩本幸英

人工股関節置換術後のスポーツ活動調査.

第41回日本股関節学会学術集会 2014.10.30,11.1. 東京

- 久保裕介、山本卓明、本村悟朗、中島康晴、大石正信、濱井敏、烏山和之、園田和彦、岩本幸英

外傷性股関節脱臼後に発生した大腿骨頭脆弱性骨折の一例.

第41回日本股関節学会学術集会 2014.10.30,11.1. 東京

- 坂本悠磨、山本卓明、楯野良知、加畑多文、土屋弘行、岩本幸英

COMP遺伝子変異に伴う多発性骨端異形成症の一例:家系内調査による遺伝子検査の有用性

第41回日本股関節学会学術集会 2014.10.30,11.1. 東京

- 本村悟朗、山本卓明、阿部光一郎、中島康晴、大石正信、濱井敏、本田浩、岩本幸英

骨 SPECT/CT を用いた早期大腿骨頭壊死症における修復過程の評価.

第87回日本整形外科学会学術総会 2014.5.22~25. 神戸

- 河野裕介、中島康晴、山本卓明、本村悟朗、大石正信、濱井敏、秋山美緒、平田正伸、原大介、金沢正幸、

岩本幸英

生体股関節における combined anteversion.

第87回日本整形外科学会学術総会 2014.5.22~25. 神戸

- 中島康晴、岩本幸英

変形性股関節症に対する手術的治療の現状.

第87回日本整形外科学会学術総会 2014.5.22~25. 神戸

- 平田正伸、中島康晴、大石正信、濱井敏、山本卓明、本村悟朗、原大介、金沢正幸、河野裕介、岩本幸英

THAの可動域に対する anterior femoral offset の至適範囲の検討 -computer simulation study-

第87回日本整形外科学会学術総会 2014.5.22~25. 神戸

- 原大介、中島康晴、濱井敏、日垣秀彦、下戸健、池部怜、平田正伸、金沢正幸、河野裕介、岩本幸英

イメージマッチング法を用いた股関節三次元動態解析 -健常股とOA股の比較-

第127回西日本整形・災害外科学会学術集会 2014.6.7-8. 福岡

- 平田正伸、中島康晴、秋山美緒、原大介、金沢正幸、河野裕介、岩本幸英

THAの可動域に対する anterior femoral offset の至適範囲の検討 -computer simulation study-

第127回西日本整形・災害外科学会学術集会 2014.6.7-8. 福岡

- 河野裕介、中島康晴、秋山美緒、山本卓明、大石正信、本村悟朗、濱井敏、平田正伸、金沢正幸、岩本幸英  
生体股関節における Combined Anteversion とその臨床的意義。  
第 127 回西日本整形・災害外科学会学術集会 2014.6.7-8. 福岡
- 宇都宮健、本村悟朗、山本卓明、中島康晴、大石正信、濱井敏、岩本幸英  
大腿骨頭前方回転骨切り術後 THA の中期成績。  
第 127 回西日本整形・災害外科学会学術集会 2014.6.7-8. 福岡
- 畑野崇、中島康晴、秋山美緒、河野裕介、山本卓明、本村悟朗、大石正信、濱井敏、福士純一、岩本幸英  
大腿骨 head-neck junction の 3 次元的形態評価 -正常股と DDH の比較-  
第 53 回日本小児股関節研究会 2014.6.20-21. 滋賀
- 河野裕介、中島康晴、秋山美緒、山本卓明、大石正信、本村悟朗、濱井敏、平田正伸、原大介、金沢正幸、  
岩本幸英  
生体股関節における Combined Anteversion とその臨床的意義。  
第 53 回日本小児股関節研究会 2014.6.20-21. 滋賀
- 鳥山和之、山本卓明、本村悟朗、山口亮介、坂本悠磨、園田和彦、久保裕介、岩本幸英  
特発性大腿骨頭壊死症に対する大腿骨頭回転骨切り術後の合併症に関する検討。  
第 43 回福岡県整形外科医会学術集会・研修会 2014.7.12. 福岡
- 平田正伸、中島康晴、大石正信、濱井敏、山本卓明、本村悟朗、秋山美緒、原大介、河野裕介、金沢正幸、  
岩本幸英  
THA の可動域に対する anterior femoral offset の至適範囲の検討 -Computer simulation study-  
第 44 回日本人工関節学会 2014.2.21-22. 沖縄
- 原大介、中島康晴、濱井敏、山本卓明、本村悟朗、大石正信、秋山美緒、平田正伸、金沢正幸、河野裕介、  
岩本幸英  
人工股関節置換術後のスポーツ活動調査。  
第 44 回日本人工関節学会 2014.2.21-22. 沖縄
- 東藤貢、アブドラ アブドルハリム、中島康晴、岩本幸英  
Prediction of Bone Fractures Associated with Hip Arthroplasties by Finite Element Analysis.  
第 44 回日本人工関節学会 2014.2.21-22. 沖縄
- 濱井敏、中島康晴、原大介、池辺怜、日垣秀彦、岩本幸英  
イメージマッチング法を用いた股関節三次元動態解析 -健常股とOA股の比較-  
第 42 回日本関節病学会 2014.11.6-7. 東京
- 久保裕介、山本卓明、本村悟朗、中島康晴、塚本伸章、大石正信、濱井敏、鳥山和之、園田和彦、岩本幸英  
ステロイド投与開始後 18 日目の MRI で骨壊死発生が示唆された両大腿骨頭壊死症の 1 例。  
第 128 回西日本整形・災害外科学会学術集会 2014.11.22-23. 沖縄
- 中島康晴、山本卓明、本村悟朗、大石正信、濱井敏、福士純一、河野裕介、岩本幸英  
骨頭壊死例への対応 -大腿骨頭回転骨切り術の治療成績-  
第 25 回日本小児整形外科学会学術集会 2014.11.27-28. 千葉
- Karasuyama K, Yamamoto T, Motomura G, Yamaguchi R, Zhao G, Sakamoto Y  
A history of alcohol abuse is a risk factor for the postoperative complications after transtrochanteric rotational  
osteotomy for osteonecrosis of the femoral head.

The 17<sup>th</sup> International Symposium on Bone Circulation. ARCO 2013, 2013.3.13. Chicago, USA

- 坂本悠磨、山本卓明、岩本幸英  
狭義の特発性大腿骨頭壊死症における遺伝子解析 — COL2A1 変異の有無の検証.  
第 41 回日本股関節学会 2014.10.31. 東京
- 鳥山和之、山本卓明、本村悟朗、中島康晴、坂本昭夫、山口亮介、趙嘸日達、坂本悠磨、岩本幸英  
非典型的な画像所見を呈した大腿骨頭壊死症の 1 例.  
第 39 回日本股関節学会学術集会 2012. 12. 7, 8. 新潟
- 鳥山和之、山本卓明、本村悟朗、中島康晴、坂本昭夫、山口亮介、趙嘸日達、坂本悠磨、岩本幸英  
特発性大腿骨頭壊死症に対する大腿骨頭回転骨切り術後の合併症に関する検討.  
第 40 回日本股関節学会学術集会 2013.11.29,30. 広島
- 鳥山和之、山本卓明、本村悟朗、山口亮介、園田和彦、岩本幸英  
大腿骨頭壊死症における壊死域、健全域、境界域での応力解析.  
第 29 回日本整形外科学会基礎学術集会 2014.10.9,10. 鹿児島
- 池川志郎  
ゲノム解析による疾患の原因と病態の解明:パーソナルゲノム時代の疾患研究の現状と問題点.  
愛媛大学大学院医学系研究科セミナー 2012.4.21. 東温
- 池川志郎  
骨・関節疾患のゲノム解析 — パーソナルゲノム時代の疾患研究.  
第 32 回日本骨代謝学会学術集会 2014.7.24. 大阪
- 池川志郎  
ゲノム研究の進歩と臨床への応用 — 整形外科領域の現状と課題—  
第 29 回日本整形外科学会基礎学術集会 2014.10.10. 鹿児島
- 池川志郎  
ゲノムからの疾患の解明 — 骨関節疾患を例に—  
第 4 回 臨床ゲノム医療学会 2014.11.30. 東京
- Ikegawa S.  
Genomic Study of Skeletal Diseases.  
2nd Asia-Pacific Bone & Mineral Research Meeting. 2014.5.31. Seoul.
- Ikegawa S.  
Genomic Study of Common Diseases 常見疾病的基因组研究.  
1st Chinese Osteoarthritis Annual Congress. 2014.10.12. Nanjing
- Ikegawa S.  
Genomic study of bone and joint diseases in East Asia.  
59th Annual meeting of the Japan Society of Human Genetics. 2014.11.22. Tokyo.
- 栗飯原賢一、吉田守美子、池田康将、上元良子、石川カズ江、赤池雅史、松本俊夫  
動脈硬化および虚血に対する eNOS 非依存的なピタバスタチンの臓器保護効果の検討.  
第 46 回日本動脈硬化学会総会・学術集会 2014.7.10. 東京
- 栗飯原賢一、吉田守美子、大黒由加里、倉橋清衛、近藤剛史、遠藤逸朗、松本俊夫  
アンジオテンシン受容体拮抗薬およびカルシウム拮抗薬併用による心筋リモデリング抑制の長期効果.

第 37 日本高血圧学会総会 2014.10.18. 横浜

- Xiangmei Zhang, Kunihiro Yamaoka, Koshiro Sonomoto, Hiroaki Kaneko, Makoto Satake, Yuka Yamamoto, Masahiro Kondo, Jidong Zhao, Shunsuke Fukuyo, Yosuke Okada and Yoshiya Tanaka  
Mesenchymal stem cells in combination with nano-fiber scaffold efficiently suppressed collagen-induced arthritis in rats.

第 32 回日本骨代謝学会 2014.7.24-28. 大阪

- 武井博文、柴田明子、酒井亮太、千野健太郎、近藤恒夫、奥山あゆみ、西英子、長澤逸人、天野宏一  
膠原病患者におけるステロイド骨粗鬆症対策としてのテリパラチドの有用性.

第 58 回日本リウマチ学会総会・学術集会ワークショップ 33 2014.4. 東京

- 黒田 毅、佐藤弘恵、中枝武司、和田庸子、村上修一、中野正明、成田一衛  
全身性エリテマトーデスの初回ステロイド投与における体格指数と大腿骨頭壊死の検討.

第 26 回中部リウマチ学会 2013.8.29. 新潟

- 高尾正樹、西井孝、坂井孝司、吉川秀樹、菅野伸彦  
 $\mu$  CT を用いた大腿骨頭壊死症の骨頭圧潰進行過程の検証.

第 87 回日本整形外科学会学術総会 2014.5.23. 神戸

- 菅野伸彦  
大腿骨頭壊死症の診断と治療 —最新の技術と知識—

第 41 回日本股関節学会 2014.10.31. 東京

- 菅野伸彦、高尾正樹、坂井孝司、西井孝、中村宣雄. 人工関節  
サーフェイスの位置づけと課題.

第 41 回日本股関節学会 2014.10.31. 東京

- 黒田隆、浅田隆太、南角学、宗和隆、秋山治彦、松田秀一  
特発性大腿骨頭壊死症に対する再生治療の取り組みと臨床応用  
—FGF-2 ハイドロゲルを用いた早期低侵襲治療.

第 13 回日本再生医療学会総会 2014.3.4-6. 京都

- 黒田隆、浅田隆太、南角学、宗和隆、秋山治彦、松田秀一  
特発性大腿骨頭壊死症に対する再生治療の取り組みと臨床応用  
—FGF-2 ゼラチンハイドロゲルを用いた早期低侵襲治療.

第 87 回日本整形外科学会 2014.5.22-25. 神戸

- 黒田隆、浅田隆太、南角学、宗和隆、秋山治彦、田畑泰彦、松田秀一  
特発性大腿骨頭壊死症に対する FGF-2 ハイドロゲルを用いた早期低侵襲治療.

第 35 回日本炎症・再生医学会総会 2014.7.1-4. 沖縄

- 黒田隆、浅田隆太、南角学、宗和隆、田畑泰彦、秋山治彦、松田秀一  
特発性大腿骨頭壊死症に対する再生治療の取り組みと臨床応用  
FGF-2 ハイドロゲルを用いた早期低侵襲治療の短期成績.

第 29 回日本整形外科学会基礎学術集会. 2014.10.9-10. 鹿児島

- 黒田隆、宗和隆、後藤公志、南角学、浅田隆太、秋山治彦、松田秀一  
パネルディスカッション C: 大腿骨頭壊死症の治療法の進歩「特発性大腿骨頭壊死症に対する再生治療の  
取り組みと臨床応用—FGF-2 ハイドロゲルを用いた早期低侵襲治療—」

- 第 41 回日本股関節学会 2014.10.31-11.1. 東京
- 黒田隆、秋山治彦、川那辺圭一、田畑泰彦、中村孝志、松田秀一  
大腿骨頭壊死症動物モデルの確立と新治療法の有効性の検証  
第 20 回日本最小侵襲整形外科学会 2014.11.15. 宇都宮
  - 黒田隆、宗和隆、後藤公志、南角学、浅田隆太、田畑泰彦、秋山治彦、松田秀一  
特発性大腿骨頭壊死症に対する再生治療の取り組みと臨床応用  
—FGF-2 ハイドロゲルを用いた早期低侵襲治療—  
第 20 回日本最小侵襲整形外科学会 2014.11.15. 宇都宮
  - 黒田隆、宗和隆、南角学、浅田隆太、秋山治彦、田畑泰彦、松田秀一  
特発性大腿骨頭壊死症—FGF-2 ハイドロゲルを用いた骨頭圧潰前の早期低侵襲治療—  
第 4 回 DDS 再生医療研究会 2014.12.6. 東京
  - 多田芳史、小荒田秀一、末松梨絵、永尾奈津美、貞永裕梨、大田明英、長澤浩平  
SLE におけるステロイド性大腿骨頭壊死症に対するワルファリンとスタチンによる予防効果。  
第 58 回日本リウマチ学会学術集会. 2014.4.24-26. 東京.
  - 戸口田淳也  
iPS 細胞を活用した整形外科疾患の病態解明から創薬。  
第 87 回日本整形外科学会学術総会, 2014.5.23. 神戸
  - Toguchida J, Aoyama T, Goto K, Kakinoki R, Kasai Y, Maekawa T, Tada H, Teramukai S, Nakamura T, Matsuda S.  
An exploatory clinical trial for idiopathic osteonecrosis of femoral head by cultured autologous multipotent mesenchymal stromal cells augmented with vascularized bone grafts.  
第 12 回 ISSCR, 2014.6.19. Vancouver
  - Matsuomoto Y, Ikeya M, Fukuta M, Hsiao E, Hayashi Y, Asaka I, Otsuka T, Conklin BR, Toguchida J  
Identification of gene sets dysregulated by mutant ACVR1 gene causing a rare intractable disease, fibrodysplasia ossificans progressiva.  
第 12 回 ISSCR, 2014.6.18. Vancouver
  - 横山宏司、西小森隆太、納富誠司郎、田中孝之、斉藤潤、梅田雄嗣、池谷真、小原収、中畑龍俊、戸口田淳也、平家俊男。  
患者由来 iPS 細胞を用いた CINCA 症候群における関節症病態の解析。  
第 35 回日本炎症・再生学会, 2014.7.1. 沖縄
  - 松本佳久、池谷真、永田早苗、浅香勲、大塚隆信、戸口田淳也。  
疾患特異的 iPS 細胞を用いた進行性骨化性線維異形成症の病態解明。  
第 29 回日本整形外科学科基礎学術集会, 2014. 10. 10. 鹿児島
  - 松永一仁、金永輝、坂井田功、戸口田淳也。  
ヒト iPS 細胞から中胚葉細胞塊を介した側板中胚葉由来間葉系幹細胞の誘導。  
第 37 回日本分子生物学会年会, 2014.11.26. 横浜
  - 植田修右、市堰徹、兼氏歩、松本忠美  
ステロイド添加および低酸素状況がもたらす骨細胞への影響 —Normoxia と Hypoixia での比較検討—  
第 40 回日本股関節学会 2013.11.29. 広島

- 植田修右、市堰徹、兼氏歩、松本忠美  
 ステロイド添加および低酸素環境による骨細胞死の誘導。  
 第29回日本整形外科学会基礎学術集会 2014.10.9. 鹿児島
- Akira Ikegami, Keiichiro Ueshima, Kazuya Ikoma, Mikihiro Fujioka, Masazumi Saito, Shigeki Hayashi, Masashi Ishida, Masaaki Kuribayashi, Osam Mazda, Toshikazu Kubo  
 Femoral perfusion after electromagnetic fields stimulation to the steroid-induced osteonecrosis model.  
 ORS 2014 Annual Meeting, 2014.3.15-18. USA
- 池上 徹, 齊藤正純, 上島圭一郎, 生駒和也, 藤岡幹浩, 林 成樹, 石田雅史, 松田 修, 久保俊一  
 電磁場刺激を行った家兎ステロイド性骨壊死モデルの大腿骨内血行動態の評価  
 第29回日本整形外科学会基礎学術集会. 2014.10.8-9
- 大倉俊昭、長谷川幸治、関泰輔、池内一磨、天野貴文、竹上靖彦  
 特発性大腿骨頭壊死症における血清カロテノイドの検討  
 第29回日本整形外科基礎学術集会 2014.10.8-9. 鹿児島、
- 山崎琢磨, 安永裕司, 石川正和, 越智光夫  
 特発性大腿骨頭壊死症に対する骨髄単核球移植。  
 第41回日本股関節学会, 2014.10.31-11.1. 東京



# 研究成果の刊行に関する一覧

## 研究成果の刊行に関する一覧

### 研究代表者：岩本幸英

- Yamaguchi R, Yamamoto T, Motomura G, Ikemura S, Iwasaki K, Zhao G, Doi T, Iwamoto Y.  
Bone and cartilage metabolism markers in synovial fluid of the hip joint with secondary osteoarthritis.  
Rheumatology, 2014; 53:2191-2195.
- Ikemura S, Yamamoto T, Motomura G, Yamaguchi R, Zhao G, Iwasaki K, Iwamoto Y.  
Cytochrome P4503A activity affects the gender difference in the development of steroid-induced osteonecrosis in rabbits.  
Int J Exp Pathol, 2014; 95(2):147-152.
- Motomura G, Yamamoto T, Abe K, Nakashima Y, Ohishi M, Hamai S, Doi T, Honda H, Iwamoto Y.  
Scintigraphic assessments of the reparative process in osteonecrosis of the femoral head using SPECT/CT with <sup>99m</sup>Tc hydroxymethylene diphosphate.  
Nucl Med Commun, 2014; 35:1047-1051.
- Yamamoto T, Karasuyama K, Iwasaki K, Doi T, Iwamoto Y.  
Subchondral insufficiency fracture of the femoral head in males.  
Arch Orthop Trauma Surg, 2014; 134:1199-1203.
- Nakashima Y, Hirata M, Akiyama M, Itokawa T, Yamamoto T, Motomura G, Ohishi M, Iwamoto Y.  
Combined anteversion technique reduced the dislocation in cementless total hip arthroplasty.  
Int Orthop, 2014; 38(1):27-32.
- Kohno Y, Nakashima Y, Kitano T, Nakamura T, Takamura K, Akiyama M, Hara D, Yamamoto T, Motomura G, Ohishi M, Hamai S, Iwamoto Y.  
Subclinical bilateral involvement of the hip in patients with slipped capital femoral epiphysis—a multicentre study.  
Int Orthop, 2014; 38(3):477-482.
- Sonoda K, Yamamoto T, Motomura G, Yamaguchi R, Karasuyama K, Iwamoto Y.  
Contralateral osteonecrosis of the femoral head newly developed after increasing the dose of corticosteroids.  
J Orthop Sci, in press 2014.
- Karasuyama K, Yamamoto T, Motomura G, Nakashima Y, Sakamoto A, Yamaguchi R, Iwamoto Y.  
Osteonecrosis of the femoral head with collapsed medical lesion.  
Clin Med Insights Case Rep, 2014; 7: 103-106.
- Yamamoto T, Ikemura S, Iwamoto Y.  
Transtrochanteric curved varus osteotomy for the treatment of osteonecrosis of the femoral head. Osteonecrosis. Koo KH, Mont MA, Jones LC. (eds), Springer-Verlag, Berlin Heidelberg, 2014; 339-344.

- Yamamoto T, Yamaguchi R, Iwamoto Y.  
The epidemiology of osteonecrosis in Japan.  
Osteonecrosis. Koo KH, Mont MA, Jones LC. (eds),  
Springer-Verlag, Berlin Heidelberg, 2014; 47-49.
- Yamamoto T, Motomura G, Yamaguchi R, Iwamoto Y.  
The role of coagulopathy in the pathogenesis and prevention of corticosteroid-induced osteonecrosis.  
Osteonecrosis. Koo KH, Mont MA, Jones LC. (eds),  
Springer-Verlag, Berlin Heidelberg, 2014; 249-253.
- Akiyama M, Nakashima Y, Oishi M, Sato T, Hirata M, Hara D, Iwamoto Y.  
Risk factors for acetabular retroversion in developmental dysplasia of the hip: does the Pemberton osteotomy contribute?  
J Orthop Sci, 2014; 19(1):90-96.
- Hamai S, Miura H, Okazaki K, Shimoto T, Higaki H, Iwamoto Y.  
No influence of coronal laxity and alignment on lift-off after well-balanced and aligned total knee arthroplasty.  
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc, 2014; 22(8):1799-1804.
- Nakashima Y, Kondo M, Fukuda T, Harada H, Horiuchi T, Ishinishi T, Jojima H, Kuroda K, Miyahara H, Maekawa M, Nishizaka H, Nagamine R, Nakashima H, Otsuka T, Shono E, Suematsu E, Shimauchi T, Tsuru T, Wada K, Yoshizawa S, Yoshizawa S, Iwamoto Y.  
Remission in patients with active rheumatoid arthritis by tocilizumab treatment in routine clinical practice: results from 3 years of prospectively registered data.  
Mod Rheumatol, 2014; 24(2):258-264.
- Hirata M, Nakashima Y, Itokawa T, Ohishi M, Sato T, Akiyama M, Hara D, Iwamoto Y.  
Influencing factors for the increased stem version compared to the native femur in cementless total hip arthroplasty.  
Int Orthop, 2014; 38(7):1341-1346.
- Ushijima T, Okazaki K, Tsushima H, Ishihara K, Doi T, Iwamoto Y.  
CCAAT/Enhancer Binding Protein  $\beta$  Regulates Expression of Indian Hedgehog during Chondrocytes Differentiation.  
PLoS One, 2014; Aug 8;9(8):e104547.
- Hamai S, Nakashima Y, Akiyama M, Kuwashima U, Yamamoto T, Motomura G, Ohishi M, Iwamoto Y.  
Ischio-pubic stress fracture after peri-acetabular osteotomy in patients with hip dysplasia.  
Int Orthop, 2014; 38:2051-2056.
- Hashiguchi T, Oyamada A, Sakuraba K, Shimoda K, Nakayama K, Iwamoto Y, Yoshikai Y, Yamada H.  
Tyk2-dependent bystander activation of conventional and nonconventional Th1 cell subsets contributes to innate host defense against *Listeria monocytogenes* infection.  
J Immunol, 2014; 192(10):4739-4747.

- Ushijima T, Okazaki K, Tsushima H, Iwamoto Y.  
CCAAT/enhancer-binding protein  $\beta$  regulates the repression of type II collagen expression during the differentiation from proliferative to hypertrophic chondrocytes.  
J Biol Chem, 2014; 289(5):2852-2863.
- Ishihara K, Nakayama K, Akieda S, Matsuda S, Iwamoto Y.  
Simultaneous regeneration of full-thickness cartilage and subchondral bone defects in vivo using a three-dimensional scaffold-free autologous construct derived from high-density bone marrow-derived mesenchymal stem cells.  
J Orthop Surg Res, in press 2014.
- Kobayakawa K, Kumamaru H, Saiwai H, Kubota K, Ohkawa Y, Kishimoto J, Yokota K, Ideta R, Shiba K, Tozaki-Satoh H, Inoue K, Iwamoto Y, Okada S.  
Acute hyperglycemia impairs functional improvement after spinal cord injury in mice and humans.  
Sci Transl Med, in press 2014.
- Nakashima Y, Kondo M, Miyahara H, Iwamoto Y.  
Drug delivery options to increase patient adherence and satisfaction in the management of rheumatoid arthritis - focus on subcutaneous tocilizumab.  
Drug Des Devel Ther, in press 2014.
- Fukushima W, Yamamoto T, Takahashi S, Sakaguchi M, Kubo T, Iwamoto Y, Hirota Y.  
The effect of alcohol intake and the use of oral corticosteroids on the risk of idiopathic osteonecrosis of the femoral head.  
Bone Joint J, 2013;95-B(3):320-325.
- Iwasaki K, Yamamoto T, Motomura G, Ikemura S, Yamaguchi R, Iwamoto Y.  
Radiologic measurements associated with the prognosis and need for surgery in patients with subchondral insufficiency fractures of the femoral head.  
AJR Am J Roentgenol, 2013;201(1):W97-W103.
- Ikemura S, Yamamoto T, Motomura G, Nakashima Y, Mawatari T, Iwamoto Y.  
The utility of clinical features for distinguishing subchondral insufficiency fracture from osteonecrosis of the femoral head.  
Arch Orthop Trauma Surg, 2013;133(12):1623-1627.
- Sakamoto Y, Yamamoto T, Motomura G, Sakamoto A, Yamaguchi R, Iwasaki K, Zhao G, Karasuyama K, Iwamoto Y.  
Osteonecrosis of the femoral head extending into the femoral neck.  
Skeletal Radiol, 2013;42(3):433-436.
- Sato T, Nakashima Y, Akiyama M, Yamamoto T, Mawatari T, Itokawa T, Ohishi M, Motomura G, Hirata M, Iwamoto Y.  
Comparison of polyethylene wear between highly crosslinked and annealed UHMWPE and conventional UHMWPE against ceramic heads in total hip arthroplasty.  
Bioceramics, 2013;24:279-284.

- Sato T, Nakashima Y, Matsushita A, Fujii M, Iwamoto Y.  
Effects of posterior pelvic tilt on anterior instability in total hip arthroplasty: A parametric experimental modeling evaluation.  
*Clin Biomech*(Bristol, Avon), 2013;28(2):178-181.
- Nakashima Y, Mashima N, Imai H, Mitsugi N, Taki N, Mochida Y, Owan I, Arakaki K, Mawatari T, Motomura G, Ohishi M, Doi T, Kanazawa M, Iwamoto Y.  
Clinical and radiographic evaluation of total hip arthroplasties using porous tantalum modular acetabular components: 5-year follow-up of clinical trial.  
*Mod Rheumatol*, 2013;23(1):112-118.
- Itokawa T, Nakashima Y, Yamamoto T, Motomura G, Ohishi M, Hamai S, Akiyama M, Hirata M, Hara D, Iwamoto Y.  
Late dislocation is associated with recurrence after total hip arthroplasty.  
*Int Orthop*, 2013;37(8):1457-1463.
- Hara D, Nakashima Y, Yamamoto T, Higashihara S, Todo M, Hirata M, Akiyama M, Iwamoto Y.  
Late failure of annealed highly cross-linked polyethylene acetabular liner.  
*J Mech Behav Biomed Mater*, 2013;23:206-212.
- Hirata M, Nakashima Y, Ohishi M, Hamai S, Hara D, Iwamoto Y.  
Surgeon error in performing intraoperative estimation of stem anteversion in cementless total hip arthroplasty.  
*J Arthroplasty*, 2013; 28(9): 1648-1653.
- Zhao G, Yamamoto T, Motomura G, Yamaguchi R, Ikemura S, Iwasaki K, Iwamoto Y.  
Cholesterol- and lanolin-rich diets may protect against steroid-induced osteonecrosis in rabbits.  
*Acta Orthopaedica*, 2013; 84(6):593-597.
- Iwasaki K, Yamamoto T, Motomura G, Ikemura S, Nakashima Y, Mawatari T, Iwamoto Y.  
Prognostic factors associated with a subchondral insufficiency fracture of the femoral head.  
*Br J Radiol (BJR)*, 2012;85:214-218.
- Yamaguchi R, Yamamoto T, Motomura G, Ikemura S, Iwasaki K, Zhao G, Iwamoto Y.  
Effects of an anti-platelet drug on the prevention of steroid-induced osteonecrosis in rabbits.  
*Rheumatology*, 2012;51:789-793.
- Motomura G, Yamamoto T, Yamaguchi R, Ikemura S, Nakashima Y, Mawatari T, Iwamoto Y.  
Mid-term results of transtrochanteric anterior rotational osteotomy combined with shelf acetabuloplasty for osteonecrosis with acetabular dysplasia: a preliminary report.  
*J Orthop Sci*, 2012;17(3):239-243.
- Zhao G, Yamamoto T, Ikemura S, Motomura G, Iwasaki K, Yamaguchi R, Nakashima Y, Mawatari T, Iwamoto Y.  
Clinico-radiological factors affecting the joint space narrowing after transtrochanteric anterior rotational osteotomy for osteonecrosis of the femoral head.  
*J Orthop Sci*, 2012;17(4):390-396.
- Sato T, Nakashima Y, Akiyama M, Yamamoto T, Mawatari T, Itokawa T, Motomura G, Ohishi M, Hirata M,

Iwamoto Y.

Wear resistant performance of highly crosslinked and annealed ultra-high molecular weight polyethylene against ceramic femoral heads in total hip arthroplasty.

J Orthop Res, 2012;30(12):2031-2037.

- Akiyama M, Nakashima Y, Fujii M, Sato T, Yamamoto T, Mawatari T, Motomura G, Matsuda S, Iwamoto Y.  
Femoral anteversion is correlated with acetabular version and coverage in Asian women with anterior and global deficient subgroups of hip dysplasia. A CT study  
Skeletal Radiol, 2012;41(11):1411-1418.
- Kawahara S, Nakashima Y, Oketani H, Wada A, Fujii M, Yamamoto T, Mawatari T, Motomura G, Satoh T, Akiyama M, Fujii T, Takamura K, Iwamoto Y.  
High prevalence of acetabular retroversion in both affected and unaffected hips after Legg-Calve-Perthes disease.  
J Orthop Science, 2012;17(3):226-232.
- Motomura G, Yamamoto T, Inoue S, Nakashima Y, Mawatari T, Iwamoto Y.  
Subclinical infection associated with delayed union after transtrochanteric rotational osteotomy.  
Orthopaedic Review and Research, 2012;4:5-8.
- Ikemura S, Yamamoto T, Motomura G, Iwasaki K, Yamaguchi R, Zhao G, Iwamoto Y.  
Alcohol-induced osteonecrosis -Dose and duration effect.  
Int J Exp Path, 2012;93:78-80.
- Kumamaru H, Saiwai H, Ohkawa Y, Yamada H, Iwamoto Y, Okada S.  
Age-related differences in cellular and molecular profiles of inflammatory responses after spinal cord injury.  
J Cell Physiol, 2012;227(4):1335-1346.
- 岩本幸英  
整形外科領域 この10年の進歩  
第8章 整形外科  
内科12 臨床雑誌, 2014; 114(6):1198-1201.
- 岩本幸英  
医学・医療の最新情報と日本整形外科学会の対応  
巻頭言  
日整会誌, 2014; 88:1-3.
- 坂本悠磨、山本卓明、岩本幸英、菅野伸彦、久保俊一、池川志郎  
特発性大腿骨頭壊死症のゲノム解析  
-GWASによる疾患感受性遺伝子の同定を目指して-  
骨・関節疾患におけるゲノム医学の進歩  
整・災外, 2014; 57:1731-1740.
- 中島康晴、坂本悠磨、西村玄、池川志郎、岩本幸英

- 新規の遺伝子変異が同定されたⅡ型コラーゲン異常症の1家系  
第25回日本整形外科学会骨系統疾患研究会記録集, 2014; 49-52.
- 坂本悠磨、山本卓明、本村悟朗、中村吉秀、池川志郎、岩本幸英  
成人時に股関節痛で発症したCOL2A1遺伝子変異に伴う骨化障害例の検討。  
第25回日本整形外科学会骨系統疾患研究会記録集, 2014; 57.
  - 山本卓明、岩本幸英  
ステロイド性大腿骨頭壊死  
治療薬による有害事象 ステロイド  
関節リウマチの合併症, 日本臨床, 2014; 72 巻増刊号 3, 659-663.
  - 山本卓明、岩本幸英  
11. 大腿骨頭軟骨下脆弱性骨折-膝を含めて  
Ⅲ. 高齢者脆弱性骨折の治療-部位別各論  
整形外科, 2014; 65(8):851-856.
  - 中島康晴、秋山美緒、平田正伸、岩本幸英  
Combined anteversionと脱臼  
関節外科, 2014; 33(7):720-724.
  - 中島康晴、大石正信、秋山美緒、山本卓明、本村悟朗、濱井敏、福士純一、岩本幸英、河野一郎  
外側進入 periacetabular osteotomy における外転筋侵襲低減の試み  
Hip Joint, 2014; 14(40):53-59.
  - 福士純一、岩本幸英  
ロコモティブシンドロームとメタボリックシンドロームの関連性  
特集: 高齢者の骨・関節疾患  
日本臨床, 2014; 72(10), 1834-1838.
  - 上島隆秀、高杉紳一郎、田尻由季、瓜生充恵、御崎晶嗣、岩本幸英  
離床支援に役立つエアマットレスの開発  
国立大学リハビリテーション療法士学会誌, 2014; 35:62-65.
  - 井浦国生、中島康晴、秋山美緒、池田啓一、岩本幸英  
ペルテス病後に発生した Femoroacetabular impingement の一例  
整形外科と災害外科, 2013;62(1):119-123.
  - 中川剛、糸川高史、中島康晴、山本卓明、馬渡太郎、本村悟朗、大石正信、秋山美緒、岩本幸英  
32mm 径骨頭は人工股関節置換術後の脱臼率を低下させる  
整形外科と災害外科, 2013;62(2):217-219.
  - 本村悟朗、山本卓明、阿部光一郎、中島康晴、大石正信、濱井 敏、本田 浩、岩本幸英  
特発性大腿骨頭壊死症における SPECT/CT 融合画像の応用  
Bone Joint Nerve, 2013;3(3):457-460.
  - 山本卓明、岩本幸英  
ステロイド性大腿骨頭壊死の診断・治療・予防  
特殊な状況と合併症への対応 特集 寛解を目指す膠原病診療

内科, 2013;112(1):85-90.

- 中島康晴、秋山美緒、藤井政徳、原 大介、平田正伸、山本卓明、本村悟朗、大石正信、濱井 敏、岩本幸英  
Periacetabular osteotomy における臼蓋骨片の至適移動方向の検討  
Hip Joint, 2013;13(39):12-18.
- 山本卓明、岩本幸英：  
特発性大腿骨頭壊死症。  
医師・薬剤師のための医薬品副作用ハンドブック 寺本民生監修，日本臨床社，大阪，2013：606-608.
- 編集委員：岩本幸英、安田和則、馬場久敏、金谷文則  
担当編集委員：岩本幸英  
OS NOW Instruction No. 25 人工関節置換術の合併症対策テクニック  
予防と対処のコツ  
メジカルビュー社，東京，2013
- 岩本幸英  
神中整形外科学 改訂 23 版 上巻、総論 部位別疾患  
編集 岩本幸英  
南山堂、東京、2013
- 山本卓明、岩本幸英  
大腿骨頭壊死症 整形外科医が知っておくべき非腫瘍性骨関節疾患の組織像  
整形外科，2012;63(6):574-576.
- 山本卓明、岩本幸英  
特発性大腿骨頭壊死症 III. 副作用各論-重大な副作用-骨・関節  
医薬品副作用学（第2版）-薬剤の安全使用アップデート-  
日本臨床，2012;70(6):749-754.
- 山本卓明、岩本幸英  
特発性大腿骨頭壊死症 [股関節] 第4章関節の外傷と障害  
できる！画像診断入門シリーズ 骨軟部画像診断のここが鑑別ポイント改訂版  
編集：福田国彦、羊土社、東京、2012;84-85。（分担執筆）
- 本村悟朗、山本卓明、中島康晴、馬渡太郎、糸川高史、大石正信、岩本幸英  
特発性大腿骨頭壊死症に対する bipolar 型人工骨頭置換術の成績不良因子の検証  
Hip Joint, 2012;38:17-19.
- 桑島海人、中島康晴、山本卓明、馬渡太郎、糸川高史、本村悟朗、大石正信、秋山美緒、岩本幸英  
寛骨臼移動術後に発生した恥骨疲労骨折の検討  
整形外科と災害外科，2012;61(1):17-20.
- 川原慎也、中島康晴、藤井政徳、山本卓明、馬渡太郎、本村悟朗、松下昌史、高杉紳一郎、岩本幸英  
ペルテス病後の臼蓋後捻の検討  
整形外科と災害外科，2012;61(2):270-273.
- 山本卓明、山口亮介、岩本幸英



- 変形性関節症、整形外科医が知っておくべき非腫瘍性骨関節疾患の組織像  
整形外科, 2012;63(4):358-359.
- 山本卓明、岩本幸英  
関節内脆弱性骨折の画像診断 骨質評価法：骨イメージング-2  
Osteoporosis Japan, 2012;20(2):58-62.
  - 山本卓明、岩本幸英  
急速破壊型股関節症 整形外科医が知っておくべき非腫瘍性骨関節疾患の組織像  
整形外科, 2012;63(7):668-669.
  - 岡崎 賢、岩本幸英  
最新の軟骨画像評価技術  
MB Orthop, 2012;25(6):7-13.
  - 中島康晴、岩本幸英  
寛骨臼移動術の適応と限界②私の治療法  
Arthritis 運動器疾患と炎症, 2012;10(2):20-26.
  - 山本卓明、岩本幸英  
大腿骨頭軟骨下脆弱性骨折 整形外科医が知っておくべき非腫瘍性骨関節疾患の組織像  
整形外科, 2012;63(12):1288-1289.
  - 岡崎 賢、岩本幸英  
T1  $\rho$  (rho)マッピングおよび T2 マッピング MRI による関節軟骨基質の評価  
運動器疾患の画像診断、III. MRI 診断、1. 関節軟骨の評価  
別冊整形外科, 2012;62:70-73.
  - 岩崎賢優、山本卓明、本村悟朗、中島康晴、馬渡太郎、岩本幸英  
MRI による大腿骨頭軟骨下脆弱性骨折の予後予測の試み  
運動器疾患の画像診断、III. MRI 診断、9. その他  
別冊整形外科, 2012;62:154-157.
  - 本村悟朗、山本卓明、岩本幸英  
骨 SPECT/CT 融合画像を用いた大腿骨頭壊死症の病態評価  
運動器疾患の画像診断、VI. その他の画像診断  
別冊整形外科, 2012;62:208-210.
  - 中島康晴、岩本幸英  
変形性股関節症  
ロコモティブシンドロームの原因疾患と治療、特集/ロコモティブシンドローム診療の実際  
臨床と研究, 2012;89(11):41-45.
  - 山本卓明、岩本幸英  
大腿骨頭軟骨下脆弱性骨折  
臨床雑誌「整形外科」, 2012;63(12):1288-1289.
  - 馬渡太郎、岩本幸英  
リセドロネート治療における治療開始時骨密度

Osteoporosis Japan, 2012;20(1):226.

- 中島康晴、佐藤太志、岩本幸英  
骨溶解(osteolysis)の診断と対策 臨床的立場から THA の合併症対策  
関節外科, 2012;31(2):180-187.
- 山本卓明、岩本幸英  
第12章:骨・関節系疾患の医療ニーズ  
第3節 特発性大腿骨頭壊死症  
希少疾患/難病の診断・治療と製品開発, 2012;1212-1217.
- 高杉紳一郎、河野一郎、上島隆秀、増本賢治、岩本幸英  
太極拳による高齢者の運動機能向上  
Ⅲ.ロコモティブシンドローム対策トレーニング、ロコモティブシンドローム  
メディカルレビュー社、大阪、2012;263-269。(分担執筆)
- 山本卓明、岩本幸英  
大腿骨頭軟骨下脆弱性骨折と一過性大腿骨頭萎縮症 [股関節]  
第4章関節の外傷と障害  
できる!画像診断入門シリーズ 骨軟部画像診断のここが鑑別ポイント改訂版  
編集:福田国彦、羊土社、東京、2012;86-87。(分担執筆)

#### 研究分担者: 福島若葉

- Fukushima W, Hirota Y.  
Alcohol. In: Osteonecrosis.  
Koo KH, Jones LC, Mont MA, Jones LC, editors. Springer, 2014, 95-99.
- Saito M, Ueshima K, Fujioka M, Ishida M, Goto T, Arai Y, Ikoma K, Fujiwara H, Fukushima W, Kubo T.  
Corticosteroid administration within 2 weeks after renal transplantation affects the incidence of femoral head osteonecrosis.  
Acta Orthop, 2014;85(3):266-270.
- Fukushima W, Yamamoto T, Takahashi S, Sakaguchi M, Kubo T, Iwamoto Y, et al.  
Idiopathic ONFH multicenter case-control study. The effect of alcohol intake and the use of oral corticosteroids on the risk of idiopathic osteonecrosis of the femoral head: a case-control study in Japan.  
Bone Joint J, 2013;95-B(3):320-325.
- Takahashi S, Fukushima W, Kubo T, Iwamoto Y, Hirota Y, Nakamura H.  
Pronounced risk of nontraumatic osteonecrosis of the femoral head among cigarette smokers who have never used oral corticosteroids: a multicenter case-control study in Japan.  
J Orthop Sci, 2012;17(6):730-736.
- 福島若葉、大藤さとこ、廣田良夫  
臨床医のための疫学と統計学の基本.  
日本整形外科学会雑誌, 2013;87(7):563-571.

## 研究分担者：池川志郎

- 池川志郎  
骨関節疾患におけるゲノム医学研究の現状と展望-骨・関節疾患におけるゲノム医学の進歩.  
整形・災害外科, 2014;57(1):69-76.
- 坂本悠磨, 山本卓明, 岩本幸英, 菅野伸彦, 久保俊一, 池川志郎  
特発性大腿骨頭壊死症のゲノム解析-GWASによる疾患感受性遺伝子の同定を目指して.  
整形・災害外科, 2014;57(13):1731-1740.

## 研究分担者：松本俊夫

- Heo KS, Cushman HJ, Akaike M, Woo CH, Wang X, Qiu X, Fujiwara K, Abe J.  
ERK5 activation in macrophages promotes efferocytosis and inhibits atherosclerosis.  
Circulation, 2014;130:180-191.
- Le NT, Takei Y, Izawa-Ishizawa Y, Heo KS, Lee H, Smrcka AV, Miller BL, Ko KA, Ture S, Morrell C, Fujiwara K, Akaike M, Abe J.  
Identifying ERK5 transcriptional activators by high throughput screening, and the crucial role of endothelial ERK5 in statins and anti-malarial agents-induced vaso-protective effects.  
J Immunol, 2014; 193(7):3803-3815.
- Yagi S, Kadota M, Aihara K, Nishikawa K, Hara T, Ise T, Ueda Y, Iwase T, Akaike M, Shimabukuro M, Katoh S, Sata M.  
Association of lower limb muscle mass and energy expenditure with visceral fat mass in healthy men.  
Diabetol Metab Syndr, 2014;6(1):27.
- Kinouchi M, Aihara K, Fujinaka Y, Yoshida S, Ooguro Y, Kurahashi K, Kondo T, Aki N, Kuroda A, Endo I, Matsuhisa M, Matsumoto T.  
Diabetic conditions differentially affect the endothelial function, arterial stiffness and carotid atherosclerosis.  
J Atheroscler Thromb, 2014;21(5):486-500.
- Yoshida S, Aihara K, Ikeda Y, Sumitomo-Ueda Y, Uemoto R, Ishikawa K, Ise T, Yagi S, Iwase T, Mouri Y, Matsumoto T et al.  
Androgen receptor promotes sex-independent angiogenesis in response to ischemia and is required for activation of vascular endothelial growth factor receptor signaling.  
Circulation, 2013;128:60-71.
- Tamaki J, Iki M, Kadowaki E, Sato Y, Chiba Y, Akiba T, Matsumoto T, Nishino H, Kagamimori S, Kagawa Y, et al.  
Biochemical markers for bone turnover predict risk of vertebral fractures in postmenopausal women over 10 years: the Japanese Population-based Osteoporosis (JPOS) Cohort Study.  
Osteoporos Int, 2013; 24:887-897.
- Nakamura T, Takano T, Fukunaga M, Shiraki M, and Matsumoto T.  
Eldecalcitol is more effective for the prevention of osteoporotic fractures than alfacalcidol.

- J Bone Miner Metab, 2013; 31:417-422.
- Leblanc A, Matsumoto T, Jones J, Shapiro J, Lang T, Shackelford L, Smith S.M, Evans H, Spector E, Ploutz-Snyder R, et al.  
Bisphosphonates as a supplement to exercise to protect bone during long-duration spaceflight. Osteoporos Int, 2013; 24:2105-2114.
  - Kuriwaka-Kido R, Kido S, Miyatani Y, Ito Y, Kondo T, Omatsu T, Dong B, Endo I, Miyamoto K, Matsumoto T. Parathyroid hormone (1-34) counteracts the suppression of interleukin-11 expression by glucocorticoid in murine osteoblasts: a possible mechanism for stimulating osteoblast differentiation against glucocorticoid excess. Endocrinology, 2013; 154:1156-1167.
  - Kato S, Endo I, Fujimura M, Kuriwaka-Kido R, Fujinaka Y, Aihara K, Iwase T, Inoue D, Akaike M, Abe M, Matsumoto T. et al.  
Serum carboxy-terminal telopeptide of type I collagen (ICTP) as a surrogate marker for vulnerable plaques in atherosclerotic patients: a pilot study. Atherosclerosis, 2013; 229:182-185.
  - Jambaldorj B, Terada E, Hosaka T, Kishuku Y, Tomioka Y, Iwashima K, Hirata Y, Teshigawara K, Thi Kim Le C, Nakagawa T, Matsumoto T. et al.  
Cysteine string protein 1 (CSP1) modulates insulin sensitivity by attenuating glucose transporter 4 (GLUT4) vesicle docking with the plasma membrane. J Med Invest, 2013; 60:197-204.
  - Hagino H, Takano T, Fukunaga M, Shiraki M, Nakamura T, Matsumoto T.  
Eldecalcitol reduces the risk of severe vertebral fractures and improves the health-related quality of life in patients with osteoporosis. J Bone Miner Metab, 2013;31:183-189.
  - Hagino H, Shiraki M, Fukunaga M, Nakano T, Takaoka K, Ohashi Y, Nakamura T, Matsumoto T.  
Number and severity of prevalent vertebral fractures and the risk of subsequent vertebral fractures in Japanese women with osteoporosis: results from the minodronate trial. J Bone Miner Metab, 2013;31:544-550.
  - Yamamoto Y, Yoshizawa T, Fukuda T, Shiode-Fukuda Y, Yu T, Sekine K, Sato T, Kawano H, Aihara K, Nakamichi Y, Watanabe T, Shindo M, Inoue K, Inoue E, Tsuji N, Hoshino M, Metzger D, Chambon P, Kato S, Imai Y.  
Vitamin D receptor in osteoblasts is a negative regulator of bone mass control. Endocrinology, 2013;154(3):1008-1020.
  - Ikeda Y, Aihara K, Yoshida S, Iwase T, Tajima S, Izawa-Ishizawa Y. et al.  
Heparin cofactor II, a serine protease inhibitor, promotes angiogenesis via activation of the AMP-activated protein kinase-endothelial nitric-oxide synthase signaling pathway. J Biol Chem, 2012;287:34256-34263.
  - Yagi S, Aihara K, Ikeda Y, Akaike M, Sata M, Matsumoto T.  
Effects of statins on cardiorenal syndrome.